

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月2日

東

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所  
 コード番号 2112 URL <http://www.ensuiko.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 成克  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,566	16.3	546	99.3	1,186	384.7	901	549.5
2023年3月期第2四半期	13,384	9.3	274	△39.6	244	△37.1	138	△40.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,607百万円( —%) 2023年3月期第2四半期 122百万円( △48.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	33.01	—
2023年3月期第2四半期	5.10	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,223	12,515	47.7
2023年3月期	25,877	11,028	42.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 12,515百万円 2023年3月期 11,028百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,200	4.5	520	△16.5	1,300	77.7	890	78.6	32.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —  
期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	35,000,000株	2023年3月期	35,000,000株
2024年3月期2Q	7,620,677株	2023年3月期	7,696,677株
2024年3月期2Q	27,321,596株	2023年3月期2Q	27,244,839株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行に伴う社会経済活動の正常化から回復基調にあるものの、日米金利差による円安進行や長期化するウクライナ情勢を背景としたエネルギー価格の高騰から国内物価が上昇し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループはお客様、地域社会、関係取引先、従業員及びその家族の安全と健康を確保することを最優先に、生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材等の製品を安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に考え、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」として、年度計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

#### ①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において22.35セントで始まり、期初より原糖の供給懸念を背景とした投機筋による買いで相場の上昇が続き、さらには原油価格の高騰など外部環境も上昇を後押しし、4月下旬には11年ぶりの高値27.41セントまで値を伸ばしました。その後、一時はブラジルの好調な生産状況を背景に供給懸念が後退し、軟調に推移したものの、8月下旬にインドの砂糖輸出制限の見通しが強まり、供給懸念が再燃したため上昇に転じ、結局26.27セントで当第2四半期連結累計期間を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白大袋1kg当たり）は、期初227円～229円で始まりましたが、海外粗糖相場の高騰や海上運賃の上昇、急激な円安の影響を受けた結果、7月に239円～241円に上昇し、そのまま当第2四半期連結累計期間を終了しました。

精糖およびその他糖類など国内販売では、人流回復による需要回復が期待されたものの、インバウンドや観光需要等についてはコロナ禍前の水準に至らず、家庭用・業務用製品とも販売量は低調に推移しましたが、実勢を踏まえた適正価格での販売に努めた結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、砂糖事業全体の売上高は14,593百万円（前年同四半期比17.2%増）、セグメント利益は919百万円（前年同四半期比58.0%増）となりました。

#### ②バイオ事業

オリゴ糖部門は、前期まで「オリゴのおかげ」シリーズが健康志向の高まりやTV特需等の影響を受け好調に推移していたものの当期は需要が一服し、低調に推移しました。8月下旬以降、「オリゴのおかげ」メインキャラクターとして美容家のIKKO氏を起用、TVCMや新聞広告、SNSを通じて積極的な販促活動を行い、需要は回復基調に転じましたが、売上高は前年同四半期を下回りました。

サイクロデキストリン部門は、一部ユーザー向け製品の販売が好調であったため、売上高は前年を上回りました。

ビーツ部門は、ECサイトでの販売を中心に展開し、売上高は前年を上回りました。

以上の結果、バイオ事業全体の売上高は964百万円（前年同四半期比4.3%増）、原材料コスト等の上昇に伴いセグメント利益は211百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

#### ③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は67百万円（前年同四半期比0.0%増）、セグメント利益は37百万円（前年同四半期比20.9%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,566百万円（前年同四半期比16.3%増）、営業利益は546百万円（前年同四半期比99.3%増）、また、出資先からの受取配当金が増加したことから経常利益は1,186百万円（前年同四半期比384.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は901百万円（前年同四半期比549.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産、負債及び純資産の状況)

#### ①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて15百万円減少し、8,672百万円となりました。これは主に、現金及び預金が799百万円減少、受取手形及び売掛金が242百万円、商品及び製品が176百万円、原材料及び貯蔵品が262百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べて361百万円増加し、17,551百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が84百万円、機械及び装置が65百万円、繰延税金資産307百万円がそれぞれ減少した一方で、投資有価証券が875百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて346百万円増加し、26,223百万円となりました。

#### ②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,141百万円減少し、13,708百万円となりました。これは主に、長期借入金483百万円減少したことによるものであります。

#### ③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,487百万円増加し、12,515百万円となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べて799百万円減少し、1,413百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、434百万円（前年同四半期は104百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,188百万円、減価償却費292百万円、利息及び配当金の受取736百万円等による資金の増加があった一方で、棚卸資産の増加473百万円、法人税等の支払額234百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、76百万円（前年同四半期は172百万円の資金支出）となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入62百万円等による資金の増加があった一方で、有形固定資産の取得による支出135百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、1,163百万円（前年同四半期は1,175百万円の資金支出）となりました。

これは、配当金の支払136百万円、借入金の純減少額1,027百万円による資金の減少があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、今後も原料価格の高騰などが見込まれ、第3四半期以降収益の圧迫が予測されることから、2023年5月29日付「出資先からの配当金の受領及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から修正はございません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,212	1,413
受取手形及び売掛金	2,012	2,255
商品及び製品	1,395	1,571
仕掛品	206	239
原材料及び貯蔵品	1,670	1,932
その他	1,190	1,260
流動資産合計	8,688	8,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,211	10,222
減価償却累計額	△7,630	△7,726
建物及び構築物(純額)	2,580	2,496
機械装置及び運搬具	12,257	12,348
減価償却累計額	△10,522	△10,678
機械装置及び運搬具(純額)	1,735	1,669
工具、器具及び備品	425	419
減価償却累計額	△379	△377
工具、器具及び備品(純額)	45	41
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	93	45
有形固定資産合計	9,690	9,488
無形固定資産		
ソフトウェア	19	15
その他	6	6
無形固定資産合計	25	22
投資その他の資産		
投資有価証券	5,221	6,096
長期貸付金	1,511	1,523
繰延税金資産	648	341
その他	92	79
投資その他の資産合計	7,473	8,040
固定資産合計	17,189	17,551
資産合計	25,877	26,223

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,176	1,031
短期借入金	4,800	4,000
1年内返済予定の長期借入金	1,872	2,128
未払法人税等	107	169
未払消費税等	75	151
賞与引当金	65	61
その他	1,063	964
流動負債合計	9,159	8,507
固定負債		
長期借入金	5,156	4,673
退職給付に係る負債	300	294
繰延税金負債	—	0
その他	232	232
固定負債合計	5,689	5,200
負債合計	14,849	13,708
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	12,448	13,200
自己株式	△2,946	△2,916
株主資本合計	11,493	12,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△433	267
繰延ヘッジ損益	△1	6
退職給付に係る調整累計額	△30	△32
その他の包括利益累計額合計	△464	241
純資産合計	11,028	12,515
負債純資産合計	25,877	26,223

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	13,384	15,566
売上原価	11,630	13,500
売上総利益	1,753	2,066
販売費及び一般管理費	1,479	1,519
営業利益	274	546
営業外収益		
受取利息	13	17
受取配当金	67	718
その他	25	14
営業外収益合計	106	750
営業外費用		
支払利息	45	49
持分法による投資損失	85	57
支払手数料	3	3
その他	0	0
営業外費用合計	135	110
経常利益	244	1,186
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	244	1,188
法人税、住民税及び事業税	112	289
法人税等調整額	△6	△3
法人税等合計	105	286
四半期純利益	138	901
親会社株主に帰属する四半期純利益	138	901



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	138	901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	697
繰延ヘッジ損益	2	8
退職給付に係る調整額	△1	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△16	705
四半期包括利益	122	1,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122	1,607

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	244	1,188
減価償却費	320	292
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△62	△7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	△4
受取利息及び受取配当金	△81	△735
支払利息	45	49
為替差損益 (△は益)	△11	△5
持分法による投資損益 (△は益)	85	57
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	△10	△242
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△504	△473
仕入債務の増減額 (△は減少)	△186	△144
その他	352	10
小計	189	△17
利息及び配当金の受取額	81	736
利息の支払額	△46	△49
法人税等の支払額	△120	△234
営業活動によるキャッシュ・フロー	104	434
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△131	△135
無形固定資産の取得による支出	△4	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	62
貸付けによる支出	△470	△460
貸付金の回収による収入	436	455
その他	△3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172	△76
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△800
長期借入れによる収入	—	800
長期借入金の返済による支出	△1,040	△1,027
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△135	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,175	△1,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,233	△799
現金及び現金同等物の期首残高	3,533	2,212
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,300	1,413

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	12,434	891	—	13,325	—	13,325
その他の収益	—	—	59	59	—	59
外部顧客への売上高	12,434	891	59	13,384	—	13,384
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	34	8	55	△55	—
計	12,448	925	67	13,440	△55	13,384
セグメント利益	582	238	30	851	△577	274

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	14,579	927	—	15,507	—	15,507
その他の収益	—	—	59	59	—	59
外部顧客への売上高	14,579	927	59	15,566	—	15,566
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	37	8	59	△59	—
計	14,593	964	67	15,625	△59	15,566
セグメント利益	919	211	37	1,168	△621	546

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。